平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場会社名　エコナックホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3521　URL　http://www.econach.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 奥村英夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長　(氏名) 菅原　勲　TEL 03-6418-4391

四半期報告書提出予定日　平成25年2月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	749	△5.0	69	△24.0	103	△21.3	106	△6.6
24年3月期第3四半期	788	11.6	91	233.1	131	79.5	114	92.6

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　126百万円　(△5.4%)　24年3月期第3四半期　133百万円　(99.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	1.50	―
24年3月期第3四半期	1.61	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	4,518	3,576	73.7	46.83
24年3月期	4,454	3,450	72.4	45.33

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　3,332百万円　24年3月期　3,225百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	―	―	0.00	0.00
25年3月期	―	―	―		
25年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	940	△6.6	50	△40.3	80	△40.8	80	△36.3	1.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) ― 、 除外 ―社 (社名) ―

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	71,177,466 株	24年3月期	71,177,466 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	31,482 株	24年3月期	31,482 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	71,145,984 株	24年3月期3Q	71,146,322 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 2
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
３．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（６）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から徐々に持ち直しつつあるものの、世界経済の減速や円高の長期化等により先行き不透明な状況が続きました。しかしながら、政権交代によって年末にかけて円安、株高の流れとなり、明るい兆しも見えるようになりました。

このような状況の下、不動産事業では、港区西麻布のテナントビル賃貸及び新宿区の駐車場運営による安定した収益を確保することができたものの、平成24年11月30日付で世田谷区代沢のテナントビルを売却したことに伴い平成24年12月は同ビルの賃料収入がなくなりました。また、前年同四半期連結累計期間には港区西麻布のテナントビルの保証金償却により４千２百万円の売上を計上しましたが、当第３四半期連結累計期間においては同様の特別な売上計上はありませんでした。以上の結果、売上高は前年同四半期に比べ17.4％減少し１億８千万円、営業利益は前年同四半期に比べ10.6％減少し１億４千万円となりました。

繊維事業では、４月・５月は盛夏物の綿レースの受注が好調だったものの、６月以降受注が伸び悩んだため、売上高は前年同四半期に比べ12.6％減少し３千４百万円となりました。一方、引き続きコスト削減に努めた結果、営業損失は前年同四半期に比べやや改善し２百万円となりました。

化粧品事業では、ドラッグストアやバラエティショップ向けのＯＥＭの受注を中心に取り組み、売上高は前年同四半期に比べ0.6％減少し２億６千７百万円となりました。営業損失は、貸倒引当金繰入額が増加したことなどにより、１百万円となりました（前年同四半期は営業利益１千７百万円）。

ゴルフ場事業では、伊豆スカイラインカントリー倶楽部にて各種ゴルフコンペ企画の充実及びコースコンディションの更なる向上を図ったことなどにより来場者数が増え、売上高は前年同四半期に比べ2.0％増加し２億６千７百万円となりました。また、一層の経費削減を図った結果、営業利益は前年同四半期に比べ38.0％増加し４千４百万円となりました。

以上の結果、当社グループの当第３四半期連結累計期間の売上高は７億４千９百万円（前年同四半期比5.0％減）、営業利益は６千９百万円（前年同四半期比24.0％減）、経常利益は１億３百万円（前年同四半期比21.3％減）、四半期純利益は１億６百万円（前年同四半期比6.6％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加などにより前連結会計年度末と比較して６千３百万円増加し、45億１千８百万円となりました。負債は、長期借入金や未払金の減少などにより前連結会計年度末と比較して６千２百万円減少し、９億４千１百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加により、前連結会計年度末と比較して１億２千６百万円増加し、35億７千６百万円となりました。

当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、１億７千８百万円増加し、９億１千５百万円となりました。

当第３四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、３千５百万円（前年同四半期は１億２千７百万円の獲得）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益の計上や売上債権の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は、１億６千３百万円（前年同四半期は５億３千５百万円の使用）となりました。これは、主に有形固定資産及び無形固定資産の売却による収入によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、２千万円（前年同四半期は２億５千９百万円の獲得）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当第３四半期連結累計期間の業績を踏まえ検討した結果、平成24年５月15日に公表した業績予想を変更しておりません。業績予想に修正が生じた場合は、判明次第速やかに情報開示いたします。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第３四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	737,050	915,643
受取手形及び売掛金	126,622	122,301
商品及び製品	13,883	15,450
仕掛品	1,450	2,223
原材料及び貯蔵品	38,583	39,318
販売用不動産	303,212	306,654
短期貸付金	298,907	286,973
その他	12,154	49,776
貸倒引当金	△5,534	△9,821
流動資産合計	1,526,330	1,728,520
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	270,870	190,619
機械装置及び運搬具（純額）	39,370	41,211
工具、器具及び備品（純額）	8,066	16,058
コース勘定	362,224	362,224
土地	2,093,321	2,094,221
建設仮勘定	1,325	53,224
有形固定資産合計	2,775,179	2,757,560
無形固定資産		
のれん	16,383	12,873
借地権	129,024	－
電話加入権	2,086	2,086
ソフトウエア	488	392
無形固定資産合計	147,982	15,351
投資その他の資産		
投資有価証券	600	600
その他	16,159	24,918
貸倒引当金	△12,080	△8,904
投資その他の資産合計	4,679	16,613
固定資産合計	2,927,842	2,789,525
資産合計	4,454,172	4,518,046

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,564	18,374
1年内返済予定の長期借入金	25,044	25,044
未払法人税等	9,184	8,935
未払金	31,986	13,267
その他	86,070	56,443
流動負債合計	171,850	122,065
固定負債		
長期借入金	308,268	289,485
資産除去債務	2,726	2,773
再評価に係る繰延税金負債	47,037	47,037
長期預り金	445,892	443,923
その他	27,821	35,926
固定負債合計	831,746	819,145
負債合計	1,003,596	941,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,224,825	3,224,825
利益剰余金	△82,598	24,333
自己株式	△2,049	△2,049
株主資本合計	3,140,177	3,247,109
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	84,941	84,941
その他の包括利益累計額合計	84,941	84,941
少数株主持分	225,456	244,783
純資産合計	3,450,575	3,576,835
負債純資産合計	4,454,172	4,518,046

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	788,733	749,410
売上原価	464,911	452,793
売上総利益	323,822	296,616
販売費及び一般管理費	232,521	227,207
営業利益	91,300	69,409
営業外収益		
受取利息	38,509	33,139
受取配当金	12	11
その他	9,338	12,777
営業外収益合計	47,860	45,928
営業外費用		
支払利息	2,309	6,823
有償見本費用	2,356	2,193
減価償却費	1,995	1,093
その他	1,038	1,712
営業外費用合計	7,699	11,823
経常利益	131,460	103,513
特別利益		
固定資産売却益	419	33,293
負ののれん発生益	1,218	－
特別利益合計	1,637	33,293
特別損失		
固定資産除却損	108	182
事務所移転費用	－	1,087
特別損失合計	108	1,270
税金等調整前四半期純利益	132,989	135,537
法人税、住民税及び事業税	5,109	9,296
法人税等調整額	826	△18
法人税等合計	5,935	9,277
少数株主損益調整前四半期純利益	127,053	126,259
少数株主利益	12,549	19,327
四半期純利益	114,504	106,932

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	127,053	126,259
その他の包括利益		
土地再評価差額金	6,425	－
その他の包括利益合計	6,425	－
四半期包括利益	133,479	126,259
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	120,930	106,932
少数株主に係る四半期包括利益	12,549	19,327

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	132,989	135,537
減価償却費	32,323	30,997
のれん償却額	3,510	3,510
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2,863	1,111
受取利息及び受取配当金	△38,521	△33,150
支払利息	2,309	6,823
長期前払費用償却額	2,479	－
有形固定資産売却損益（△は益）	△419	△33,293
有形固定資産除却損	108	182
負ののれん発生益	△1,218	－
売上債権の増減額（△は増加）	△22,893	4,321
たな卸資産の増減額（△は増加）	△31,108	△6,516
仕入債務の増減額（△は減少）	14,693	△1,190
未払消費税等の増減額（△は減少）	6,592	△2,077
長期預り金の増減額（△は減少）	△14,187	△1,969
その他の資産の増減額（△は増加）	1,036	△35,398
その他の負債の増減額（△は減少）	7,905	△52,325
小計	98,463	16,562
利息及び配当金の受取額	38,502	33,147
利息の支払額	△2,228	△6,861
法人税等の支払額	△7,412	△7,558
営業活動によるキャッシュ・フロー	127,324	35,290
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△541,154	△72,240
有形固定資産の売却による収入	419	83,922
無形固定資産の取得による支出	△550	－
無形固定資産の売却による収入	－	150,648
差入保証金の差入による支出	△30	△11,000
差入保証金の回収による収入	－	58
子会社株式の取得による支出	△4,500	－
貸付けによる支出	△500,000	－
貸付金の回収による収入	510,376	11,934
投資活動によるキャッシュ・フロー	△535,438	163,323
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△35,000	－
長期借入れによる収入	300,000	－
長期借入金の返済による支出	△5,423	△18,783
リース債務の返済による支出	△463	△1,237
自己株式の取得による支出	△27	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	259,086	△20,020
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△149,027	178,593
現金及び現金同等物の期首残高	885,609	737,050
現金及び現金同等物の四半期末残高	736,581	915,643

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	不動産（千円）	繊維（千円）	化粧品（千円）	ゴルフ場（千円）	合計（千円）
売上高					
外部顧客への売上高	218,335	39,041	269,693	261,662	788,733
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	272	－	272
計	218,335	39,041	269,966	261,662	789,006
セグメント利益又は損失（△）	156,686	△3,004	17,022	32,387	203,091

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	203,091
のれんの償却額	△3,510
全社費用（注）	△108,280
四半期連結損益計算書の営業利益	91,300

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	不動産（千円）	繊維（千円）	化粧品（千円）	ゴルフ場（千円）	合計（千円）
売上高					
外部顧客への売上高	180,319	34,131	267,958	267,000	749,410
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	1,082	－	1,082
計	180,319	34,131	269,041	267,000	750,492
セグメント利益又は損失（△）	140,040	△2,867	△1,934	44,696	179,934

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	179,934
のれんの償却額	△3,510
全社費用（注）	△107,014
四半期連結損益計算書の営業利益	69,409

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。